

2026年6月16日

各 位

会 社 名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
代表者氏名 代表取締役 執行役員 社長 山下 尚登
(コード番号 9265 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役 執行役員 吉田 弘幸
(TEL 092-402-2922)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すコーポレートガバナンス強化の一環として、事業年度毎に取締役会全体の実効性等の分析・評価を行い、その改善に向けた継続的な施策推進に取り組んでおります。

この度 2025 年度(2026 年 5 月期)について、2026 年 6 月 16 日付取締役会にて取締役会の実効性評価について協議いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法・概要

取締役会事務局にて全取締役8名に対し、無記名で回答を得る WEB アンケート方式にて実施いたしました。

- 実施日時: 2026 年 5 月 アンケート配布、回収、評価・分析及び課題を抽出
- 評 価 者: 全取締役及び全監査等委員(計8名)
- 実施方法: 評価者に対する自己評価アンケートの実施
- 評価項目: 4 部構成 全 30 問
 - 第 1 部 取締役会の構成 (4 問)
 - 第 2 部 取締役会の運営 (9 問)
 - 第 3 部 取締役会の議題 (10 問)
 - 第 4 部 取締役会を支える体制 (7 問)

2. 分析・評価結果の概要

取締役会の現状に対する各取締役および社外監査等委員の評価は高く、取締役会、取締役会議長、監査等委員がそれぞれの役割・責務を適切に果たしていること、取締役会については、適切な議題設定と議事運営のもと十分な議論が行われ、適切に運営されていることを確認しました。

取締役個人に対する自己評価および相互評価については、取締役の役割・責務に基づいて評価が行われ、各取締役はその責務を適切に果たし取締役会の議論に貢献していることを確認しました。

以上から、当社取締役会は、取締役会の監督機能が十分に発揮され、適切に実効性が確保できていると判断しました。

一方、次項に記載のとおり、今後継続して検討・改善を続けていくべき課題があること、それらについては引き続き定期的に検証し、改善を続けていく必要があることを確認しました。

3. 更なる実効性向上に向けた取り組み

取締役会の実効性評価の結果、取締役会における中長期的な戦略議論の充実が課題として認識されました。また、資料配布時期や資料分量、議案数の適正化など、取締役が十分な検討時間を確保できる運営改善の必要性も共有されました。今後は、資料の早期配布や事前説明会の実施、付議基準や権限委任の見直しを進め、取締役会を「報告中心」から「議論・監督中心」へ転換し、企業価値向上に向けた実効性強化に取り組んでまいります。

当社取締役会は、取締役会の実効性を更に高めるべく引き続き改善に取り組み、取締役会による経営に対する万全の監督を担保するとともに、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

以上